

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

〔安全就業スローガン最優秀作品、平成 29 年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等 22 団体の表彰〕

平成 29 年度全シ協定時総会（6 月 22 日）において、「安全就業スローガン最優秀作品」、平成 29 年度 安全就業優秀・優良シルバー人材センター等」の表彰式がありました。受賞されました皆様、おめでとうございます。

安全就業スローガン 最優秀作品 「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」
公益社団法人恵庭市シルバー人材センター会員 八京 義一 様



(全シ協前田会長から表彰を受ける 恵庭市SC 会員 八京 義一 氏)



左から全シ協 今野事務局長、全シ協 前田会長、恵庭市 SC 会員八京氏、全シ協 村木専務理事

安全就業優秀・優良シルバー人材センター等



(優秀賞) 4センター

○宮城県 柴田町 ○東京都 府中市 ○愛知県 刈谷市 ○滋賀県 栗東市

(優良賞) 17センター

○宮城県 石巻市 ○宮城県 亘理町 ○茨城県 結城市
○千葉県 大網白里市 ○長野県 茅野広域 ○岐阜県 各務原市
○愛知県 長久手市 ○三重県 志摩市 ○大阪府 泉佐野市
○奈良県 香芝市 ○広島県 安芸高田市 ○徳島県 石井町
○徳島県 牟岐町 ○愛媛県 今治市 ○福岡県 飯塚市
○福岡県 粕屋町 ○熊本県 水俣・津奈木

(優秀連合賞) 1連合

○石川県



安全リレー

～ 福島県における安全就業への取り組み ～

1. 福島県シルバー人材センター連合の概要（平成29年3月31日現在）

| | |
|---------|----------------|
| 県内センター数 | 43センター |
| 会員数 | 12,579人 |
| 契約金額 | 5,025,753,994円 |
| 受注件数 | 63,084件 |
| 就業延人数 | 1,032,943人 |
| 就業率 | 77.1% |

2. 県内の事故発生状況

● 傷害事故

福島県の事故発生件数は平成16年度に100件の大台に乗って以降、常に高い水準で推移していたところ、平成25年度が59件と少なくなったものの、平成27年度以降は再び100件を超える結果となっています。

事故の内容については、平成25年度までは就業中での「墜落・転落」、「転倒」による事故が最も多く全体の47%（28件/59件）を占め圧倒的に多かったのですが、平成26年以降は「蜂刺され」が最大件数となり、全体の31%（27件/87件）を占めるようになり、「墜落・転落」、「転倒」の事故は全体の27%（24件/87件）その傾向は現在も続いています。

なお、平成28年度に限れば就業途上での事故発生件数は8件で、「転倒」が4件、「交通事故」が4件になっています。

また、男女別での比率では、男性が全体の84%を占める状況が続いていて、例年同じ傾向が続いています。

過去5年間の傷害事故件数の推移

| 年度 | 会員数 (人) | 就業延人員 (人日) | 事故発生件数 (件) | | | 事故者率 |
|--------|------------|---------------|------------|------|-----|-----------|
| | | | 就業中 | 就業途上 | 計 | |
| 平成24年度 | 13,066 | 1,122,166 | 101 | 9 | 110 | 0.0000980 |
| 平成25年度 | 12,753 | 1,106,167 | 54 | 5 | 59 | 0.0000533 |
| 平成26年度 | 12,508 | 1,091,923 | 76 | 11 | 87 | 0.0000797 |
| 平成27年度 | 12,596 | 1,043,327 | 92 | 10 | 102 | 0.0000977 |
| 平成28年度 | 12,579 | 1,032,762 | 98 | 8 | 106 | 0.0001026 |

● 賠償事故

傷害事故発生件数の増加傾向に対して、賠償事故発生件数についてはほぼ横ばいの数字で推移していましたが、平成28年度は前年度比156%と大幅に増加しました。

内容としては、小石等の「飛散させた物で損壊」が最も多く全体の67% (41件/61件)を占めており、防御ネット等使用の不徹底が大きな原因となっているところです。

また、性別では男性が圧倒的に多く95% (58件/61件)に上り、この傾向は毎年続いております。

過去5年間の傷害事故件数の推移

| 年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-------|------|-------|-------|--------|--------|
| 件数 | 46件 | 38件 | 37件 | 39件 | 61件 |
| 前年度比較 | — | 82.6% | 97.4% | 105.4% | 156.4% |

3. 安全就業への取り組み

平成28年度は過去の事故発生状況等を考慮して、安全・適正就業対策推進委員会のもと、7月を県内「安全・適正就業強化月間」とする等県内センターが一体となって「安全就業対策」に対し推進しております。

具体的には以下のとおりです。

● 安全・適正就業対策の企画立案、実施

○第1回 安全・適正就業対策推進委員会の開催

日時 平成28年6月13日(月) 午前10時30分から

会場 福島テルサ 4階「すりかみ」

- 内容
- ・ 平成28年度 安全・適正就業対策実施計画(案)について
 - ・ 平成28年度 安全・適正就業強化月間の実施計画(案)について
 - ・ 平成28年度 安全・適正就業推進大会実施計画(案)について
 - ・ 福島県シルバー人材センター連合 安全・適正就業スローガンについて
 - ・ 平成27年度 事故発生状況について
 - ・ 平成28年度 全シ協 安全就業・優良シルバー人材センター表彰について

○第2回 安全・適正就業対策推進委員会の開催

日時 平成29年2月21日（火）午前11時00分から

会場 福島テルサ 4階「すりかみ」

- 内容
- ・ 平成28年度 安全・適正就業対策の実施状況について
 - ・ 平成29年度 安全・適正就業対策実施計画（案）について
 - ・ 平成29年度 安全・適正就業推進大会の実施について
 - ・ 平成28年度 県内事故発生状況について（12月まで）

● 事故防止措置

○安全・適正就業強化月間の策定 及び 啓発

期間 平成28年7月1日から平成28年7月31日までの1ヶ月間

内容 連合会で取り組む事項 7項目の設定

センターで取り組む事項 11項目の設定

○事故報告のまとめ分析 及び 啓発

● 安全・健康管理

○全シ協創設の「熱中症見舞金制度」の規約変更通知 及び 加入促進

○熱中症予防についての注意喚起文書の発送

● 安全意識の普及啓発

○安全・適正就業スローガン制定

「安全・適正就業スローガン」については、平成23年度に「気をぬくな 事故に場所なし 予告なし」を制定して以降、5年振りに募集をしたところ67件の応募があり、県安全・適正就業対策推進委員会で検討のうえ、「安全は 人にたよるな まかせろな」を最優秀として、その他佳作2点を決定したところです。

● 適正就業のための意識の高揚

○ 適正就業ガイドラインの通知 及び 周知徹底

○ 業務担当者研修の開催

日時 平成29年2月13日（月）～14日（火）

内容 講演「シルバー人材センターの営業力を高める」

分科会「業務委託契約書の事例検討」

「発注者からの依頼に対する適正就業の考え方」

● 安全・適正就業推進大会の開催

日時 平成28年8月4日（木） 午後1時30分から

会場 郡山ユラックス熱海 大会議室

参加者 県内センター会員他 293名

内容 第1部 式典

・「安全・適正就業スローガン」の表彰

・「安全と適正就業の誓い」

公益社団法人 南相馬市シルバー人材センター 安全管理委員会 委員長

第2部 安全・適正就業研修

・「シルバー作業における安全対策！」

講師 建設業労働災害防止協会 東日本大震災復旧復興工事

労災防止 福島県支援センター 講師

「安全・適正就業推進大会」は、例年7月の「安全・適正就業強化月間」に合わせて開催していましたが、平成28年度は会場の都合で8月に開催となりました。県内の各センターから会員293人が参加し、南相馬市シルバー人材センター安全管理委員会の委員長による発声の元、参加者全員で「安全と適正就業の誓い」を唱和し、安全・適正就業への意識高揚を高めました。

なお、今回の大会では「安全・適正就業スローガン」の決定に係る表彰も併せて実施しました。

また、「安全・適正就業推進大会」は、例年安全就業と適正就業に係る研修事業も兼ねて実施しており、平成28年度は、「シルバー作業における安全対策！」と題して、主に屋外作業での安全就業についての注意点等研修を行いました。

近年「蜂刺され」の傷害事故が多発しており、平成25年度は11件（全体の18%）でしたが、平成26年度は27件（全体の31%）に増え、平成27年度は42件（全体の41%）に増加しました。その結果を受け、今回、「建設業労働災害防止協会 東日本大震災復旧復興工事 労災防止 福島県支援センター」から講師を招き、事故防止対策についての講義をしていただきました。

その結果として、平成28年度の「蜂刺され」件数は36件（全体の34%）となり、

わずかですが改善が見られたところです。



● センターに対する安全・適正就業に係る指導等の実施

その他の安全・適正就業指導については、県警察本部からの依頼を受け近年増加している高齢者が係る交通事故防止として「自転車の安全運転の徹底 及び 事故への注意喚起」を啓発しました。

また、センターで実施する研修に対して講師派遣を行っており、平成28年度は2センターに対して連合会職員を講師として派遣し、その他講師の紹介等を行ったところです。

以上、福島県内一丸となって安全・適正就業に取り組んでおります。

福島県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

8月号の安全リレーは、鳥取県シルバー人材センター連合会様からの報告を予定しています。

平成 29 年度 6 月 事故速報

重 篤 事 故

6 月は、1 件の重篤事故報告がありました。

累計で比較してみると、昨年度の 6 件に比して、2.2 倍の 13 件と大幅な増加となっています。

就業中・就業途上別にみると、就業中では、昨年度の 4 件に比して 9 件と 5 件の増加となっており、就業途上は昨年度の 2 件に比して 4 件と 2 件の増加となっています。

“重篤事故が激増 会員、役職員の皆様、全力を挙げて事故撲滅を！”

6 月報告分までの累計

| 平成 29 年度 6 月 累 計 | 就業中・ 就業途上 | 件数 | 内 訳 | | | | 平成 28 年度同月累計 | | | | | |
|------------------------------------|--------------|-------|-------|--------|-------|------|--------------|-------|----|----|----|--|
| | | | 事故の程度 | | 性別 | | 計 | 事故の程度 | | 性別 | | |
| | | | 死亡 | 入院 | 男性 | 女性 | | 死亡 | 入院 | 男性 | 女性 | |
| 就業中 | 9 (1) | 5 (1) | 4 (0) | 9 (1) | 0 (0) | 就業中 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 就業途上 | 4 (0) | 2 (0) | 2 (0) | 2 (0) | 2 (0) | 就業途上 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 計 | 13 (1) | 7 (1) | 6 (0) | 11 (1) | 2 (0) | 計 | 6 | 3 | 3 | 3 | 3 | |

↳対前年度比 216.7%

※ () 内は 6 月報告分

6 月報告分内容

| No. | 性別等 | 仕事内容等 | 事故の状況 | 安全 帽 | 安全 帯 | 交通 手段 |
|-----|--------------|-------------|---|---------|---------|----------|
| 13 | 男 77 歳 | 就業中 (死亡) | 高さ約 3 m のマキの木の葉を三分の二ほど刈り終え、残り三分の一を刈るべく三脚脚立を移動し、登ろうとしたところ、8 段の三脚脚立の下から 2 段目に足をかけた時点で三脚脚立がぐらつき転落した。 その後、病院に搬送されたが死亡した。 | ○ | × | — |

1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

6月は、就業中の事故21件、就業途上の事故7件と、合計28件であり、昨年度同月の24件に比して4件の増加となっております。男女別では、男性は7件の増加となっており、女性は3件の減少となっております。

合計の累計を見ると、昨年度の66件に比して、本年度は70件と4件の増加となっております。就業中・就業途上別では、就業中は9件の増加、就業途上は5件の減少となっております。男女別では、男性は8件の増加となっており、女性が4件減少しています。

平成29年度6月分

| | 仕事の内容 | 事故数(件) | | 男性(件) | | 女性(件) | | 平均年齢(歳) | |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|---------|----|
| | | 6月 | 累計 | 6月 | 累計 | 6月 | 累計 | 6月 | 累計 |
| 就業中 | 植木・樹木の剪定等 | 7(1) | 21(13) | 7(1) | 20(13) | 0(0) | 1(0) | 72 | 73 |
| | 除草作業 | 4(2) | 6(5) | 4(2) | 5(5) | 0(0) | 1(0) | 69 | 72 |
| | 屋内・屋外清掃作業 | 2(2) | 8(6) | 0(1) | 2(3) | 2(1) | 6(3) | 78 | 77 |
| | その他 | 8(9) | 12(14) | 6(6) | 9(10) | 2(3) | 3(4) | 78 | 77 |
| | 計 | 21(14) | 47(38) | 17(10) | 36(31) | 4(4) | 11(7) | 75 | 75 |
| 就業途上 | 徒歩 | 3(4) | 7(8) | 1(0) | 4(0) | 2(4) | 3(8) | 75 | 76 |
| | 自転車 | 1(3) | 8(12) | 0(0) | 4(3) | 1(3) | 4(9) | 73 | 77 |
| | バイク | 3(3) | 8(7) | 1(2) | 3(5) | 2(1) | 5(2) | 76 | 76 |
| | 自動車 | 0(0) | 0(1) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(1) | — | — |
| | 計 | 7(10) | 23(28) | 2(2) | 11(8) | 5(8) | 12(20) | 75 | 76 |
| 合計 | | 28(24) | 70(66) | 19(12) | 47(39) | 9(12) | 23(27) | 75 | 75 |

()は平成28年度同月、累計では同月までの発生件数

事故報告書(重篤事故、1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故)は、その有無にかかわらず毎月8日までに必ずご提出願います。

また、重篤事故と推定される事故が発生した場合は、事故発生後概ね10日以内に「重大事故報告書(第1報)」によりご提出願います。

編集後記

梅雨の季節も終わりを告げる時期が近づきました。先日からの九州地方の豪雨では甚大な被害があり、改めて水の怖さを知りました。被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。近年、夏といえば熱中症が話題となります。今年はずでに熱中症が多発していますが、先月号では熱中症の特集をしました。熱中症を発症しにくくするのは、暑さに体を慣らすこと。暑くなる前から意識して汗をかくようにということでしたが、みなさん準備はお済みですか。また、作業中の熱中症予防にはこまめな水分補給と塩分の摂取・適度な休憩とのこと。これから炎天下で作業をされるみなさんは、今一度このことを思い出し、この夏、熱中症で倒れる方が出ることがないように一人ひとり意識し、声を掛け合い、暑さに強いカラダで熱中症を防ぐようにしましょう。(松山)

世界的に地球温暖化が問題となっています。

地球温暖化の進行で食べ物の収穫量が減ったりすることで、食べ物をおいしいと言える毎日に影響を与えると予想されています。これらは、昔の日本ではあまり見られなかった「異常気象」というものです。滝のように降る雨の発生回数や猛暑日の日数が増えているのは日本だけではなく、世界でも同じような異常気象が頻発しています。

地球温暖化は、このような異常気象を引き起こす原因となっていると考えられており、人間の日々の活動が原因である可能性が非常に高いようです。

地球の平均気温の上昇を 2°C 未満に抑えるためには、今後数十年間にわたり大幅に排出量を削減し、今世紀末までに排出をほぼゼロにすることが必要と言われています。

これからの時期は行楽地などへお出かけになる事も多くなると思いますが、外出時には事前に気象状況をできるだけ調べ危険を回避し、様々な異常気象の被害に遭わないよう注意していただきたいと思えます。(中嶋)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

<頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 216 円 A4 判
(税込・送料実費)

【改訂の内容】

- 1 現行のB5版/16頁からA4版/20頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成27年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】